

## 柴北川プロジェクト通信 41 号（平成 28 年 1 号）

平成 28 年 1 月 30 日（土）～ 31 日（日）

【平成 28 年スタート 長谷プロジェクトで新しい 2 つの提案が】

前の週の大雪の影響も残り、天候に不安を抱えながら迎えた 30 日。久しぶりの青空が見えるようなよか天気迎えられ、JCCA 事務所前を予定通り 9:00 に出発しました。

途中、湯布院を過ぎたあたりから、激しい濃霧に出くわしましたが、珍しく黒松生活改善センターには予定の 30 分前に到着することができました。

### ◆竹林整備と田植えのための圃場整備

毎年恒例の田植え、稲刈りを経験させてもらっている田圃とその周辺の雑木林で、汗かき活動が始まりました。活動を始めるにあたって、穴見会長より挨拶と活動内容の説明がありました。活動は、次の二つ。

- ① 田圃に寝かせている藁（わら）を細かく砕き田圃にまくこと。枯れた藁を田圃の栄養分にするのですが、このままでは、藁がトラクター等に絡んで機械が故障するとのこと。藁を集めて裁断機のような「藁切り」で細かく砕き、田圃に撒く作業を行う。
- ② 田圃周囲の竹林等雑木林を伐採し、田圃周辺を見晴らし良くすることで、イノシシの進入を防ぐとともに、伐採した雑木を燃やし田圃の栄養分にする。

ということで、さっそく作業を開始しました。地元の方々に負けじと、共助研メンバーも作業に力が入ります。特に、森脇さんの手際のいいこと！！地元の方、大絶賛でした。



皆さんの作業風景（上：波木さん、木寺さん） ⇒  
（下：山下さん、矢ヶ部）

↓ 作業開始前の説明に聞き入るメンバー



作業は、森脇さんの頑張りもあり、およそ2時間半程度で終了しました。  
田圃一面に、わら屑が撒かれたような感じで、今年もいいお米が取れそうな予感がします。  
また、田圃の周りの雑木林も、散髪を済ませたようにすっきりとなりました。

道路から田圃へ降りる斜面の状況を比較してみてください。⇒  
すっきりしたのがお分かりかと。

上：整備前  
下：整備後



← 手際よく作業を進める森脇さん

↓作業も終わり、「どや！顔」の森脇さんと波木さん



## ◆大いに盛り上がった新年会

しっかり汗をかいたので、穴見会長宅と三浦邸でお風呂をいただいた後、待望の新年会へ突入です。

今年もまた黒松生活改善センターに大勢の地元の方、それと豊後大野市長と奥様も参加された新年会が始まりました。地元で用意していただいた盛りだくさんの料理、それとお酒類、市長の奥様手作りのピザなどがふるまわれ目移りしながらの宴会となりました。穴見会長、わが共助研長谷プロジェクト代表として木寺さん、市長の挨拶もおわり、一気に宴会モードに切り替わり盛り上がりました。



豊後大野市長の挨拶



木寺さんの挨拶

宴会風景 ⇒



ギターを奏でる名手三浦さん



長谷レディスの前でギター演奏（矢ヶ部）

### ◆今回は、穴見会長宅と渡邊さん宅で民泊させていただきました

今回、初日に共助研から参加した6名は、穴見邸（木寺さん、玉田さん、矢ヶ部）、渡邊邸（波木さん、山下さん、森脇さん）に分かれて分宿させていただきました。

穴見邸では、夜遅くお邪魔したにもかかわらず、奥様の料理（おでん等）と濁り酒が用意されていました。せっかくですのでということで、私（矢ヶ部）のギター演奏と木寺さんの歌を披露させていただきました。渡邊さん宅でも、同様の心のこもったおもてなしがありました。ちなみに、23:30から日本一韓国のサッカー決勝戦があるということで、頑張って最後まで観戦された方々（山下さん、渡邊さんの奥様）もいたとの情報も。

翌朝、とても素晴らしい晴天に恵まれ、穴見邸・渡邊邸では、5つ星ホテルの朝食メニューにも負けないような素敵な朝食がふるまわれました。本当に、お世話になりました！！



二日目の朝のお世話になった穴見邸で(上：左から、穴見会長、奥様、玉田さん、木寺さん)

### ◆長谷プロジェクトについての、2つの新提案

2日目の午前中、大分から波多野さんも駆けつけ、長谷の方々（6名）と共助研メンバー（7名）による話し合いがもたれました。

今回は、共助研から2つの新しい活動テーマを紹介してもらい、地元の方々のご意見を伺うという形で進めました。



## 提案 1

昨年11月の「夢アイデア交流会」にて、見事？優秀賞をいただいた「レッド・データブック（地域日常生活文化編）」の実現化プロジェクトとして、ここ長谷で試行してみたいという提案です。

交流会の発表の場でも紹介した「長谷でのおかし：ジリ焼き」について、地元の奥様方を中心にアンケート調査等を行ってみたいという話をさせてもらったところ、予想以上の反応でびっくりしました。というのも、「ジリ焼き」の語源（田圃のアゼなどがぬかるんでいる状態をあらわす「じりい」と言う方言から）から、調理方法（昔は大きな鍋で作っていたので大判に焼いたのを切っていた等）、材料（メリケン粉の無い時代は、小麦にサッカリンを入れるなど時代時代を反映していること）、各家庭で作り方が微妙に違うこと、そして、昔ながらのお菓子はほかにも「石垣餅」「ほうかむり餅」「焼き餅」など、いろいろとあったこと等等・・・・・・・・

提案させてもらったものの、ここまで盛り上がる？とは思わず、本当にびっくりでした。

ということで、今後、時期を見てやってみようということに！！



## 提案 2

波木事務局長からは、「長谷地区の空き家活用」についての新提案がありました。長谷地区でも増えてきた空き家を共助研が借り受け、「週末長谷くらしラボ（ラボ＝研究室）」にという提案です。

空き家問題は、ここ豊後大野市でも取り組まれていることですが、共助研の活動拠点として、また、共助研メンバーや関係者の週末のセカンドハウスとして活用できないかという相談です。

空き家を借り受けるためには、いろいろな課題をクリアしなければいけませんが、その課題を実感するためにも取り組んでみたいという話をさせてもらいました。

話を受けて、地元からは、借りれる空き家もありそうとの情報提供もあり、取り組みのきっかけにはなりそうな話もありました。

今後は、共助研内でも議論を進めて、具体的な提案が煮詰まった段階で改めて相談させてもらおうということとなりました。



### ◆お礼とおまけ◆

今回の長谷プロジェクトも無事に終わり、帰路に着くこととなりましたが、地元の方々から、大量の抱えきれないほどのお土産（大きな大きな白菜、ポンカン・カボス・みかん、お米、新年会の景品（果物やお酒、ティッシュ等））をいただきました。

今回も、地元の方々には、本当にお世話になりました。また、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

帰路、このまま福岡へ帰るのはもったいないなあ、ということで、昼食を兼ね、別府鉄輪温泉（ひょうたん温泉）で途中下車をし、ひとつ風呂浴びて、無事に帰ってきました。

### 写 真 集



集合写真（竹林整備、圃場整備を無事に終わって）

【柴北川プロジェクト通信第41号作成担当：矢ヶ部】